

公益財団法人 みんなでつくる財団おかやま

2024 年度(令和 6 年度) 事業報告書



2024 年度のみんなつくは、設立から 13 期目（公益 11 期目）となり、『一人一人の思いをカタチに！人財・団体の育成機能を強化し、ともに成長する。』を事業方針に、「インフラとしての機能の見直しと強化」、「人財・団体の育成」「新たな価値創造の取組（関係機関との連携）」という 3 本の柱を掲げ、取り組みをすすめました。

6 月には役員改選があり、代表理事と専務理事が交代するなどみんなつく内部でも大きな体制変更があった 1 年でした。体制変更後の 7～8 月にはみんなつく関係者への内部研修も兼ねて、みんなつくが取り組んでいる事業について改めて紹介・意見交換を行う機会を事業毎に設けました。また、9～10 月には約 4 年半ぶりの事業指定助成プログラムを実施し団体の資金調達を支援した他、平成 30 年 7 月豪雨における災害支援基金「ももたろう基金」の報告書を作成しシンポジウムや勉強会を開催するなど、みんなつく内外の人・団体の成長や学びの機会を提供しました。その他にも、岡山県立大学から初の中期インターンシップ生の受け入れや、学生主体の実行委員会での 422 人マラソンリレー開催等も行った他、資金調達や団体の事業整理等に関する他団体からの講師依頼にも積極的に対応するなど、みんなつく関係者も含め、地域の皆さんに、知識やノウハウを蓄積・展開できるように、事業に取り組みました。

また、運営に関する取り組みとして、定期的に経営状況の確認を行う経営委員会を設置した他、理事が事業に関与しやすい仕組みづくり（事務局から理事への情報提供や合意形成方法の見直し）を行うことで事業の専門性向上を図るなど、組織体制強化に向けた仕組みづくりを進めました。

2025 年度は、組織運営に関する仕組みや体制づくりを引き続き進めていくとともに、いま一度、市民コミュニティ財団としての機能強化を図り、寄付の喜びをより多くの方に届けられるよう取り組みを進めていきます。

2024 年度の主な取組（ニュース）

- みんなつく初の女性の代表理事誕生（役員改選）
- 「ハロー！ミュージアムプロジェクト」（主催：福武教育文化振興財団）
県内の自治体・教育委員会へのアンケート調査を行い、全体概算予算を算出
- 事業指定助成プログラム 【はじめの一步型】として初の助成実施
- 平成 30 年 7 月豪雨の経験やノウハウをまとめた「ももたろう基金 活動報告書」の作成とシンポジウム開催
- 北長瀬（みはらし会議室・ハッシュタグ岡山）で みんなつくフォーラム&交流会開催



■ 運営に関する事項

2024 年度は、役員の改選があり、代表理事と専務理事が交代しました。代表理事は 4 代目となり、発起人ではない法人設立時期に関わりのなかったメンバーでみんつくでははじめての女性の代表理事が誕生しました。役員改選にあわせて、経営のチェック体制を強化するため、四半期ごとに寄付をはじめとした経営状況の確認を目的とした「経営委員会」の設置・開催や、事業の専門性向上を目的に、理事が事業に関与しやすい仕組みづくり（事務局から理事への情報提供や合意形成方法の見直し）を進めたほか、月次ミーティングへの代表理事の参加など、業務執行の体制と役割を見直しました。

運営体制としては、総務担当理事 1 名、事務局長 1 名、事務スタッフ 2 名（パート）に加えて、ボランティアスタッフ、就実大学・岡山県立大学からのインターン生受け入れにより、組織運営を行いました。また、セミナー運営やイベント運営は、他の助成団体や NPO と連携して実施しました。

○評議員会 （総評議員数 5 名）

開催日	出席	決議事項
R6. 6. 27 (ゆうあいセンター) ※オンライン	評議員 4 名	・ 2023 年度事業・決算・監査報告 ・ 2024 年度事業計画 ・ 評議員・理事・監事の選任について

○理事会 （総理事数 7 名、監事 3 名。6 月 27 日～ 総理事数 8 名、監事 2 名）

回数	開催日	出席	決議事項
1	R6. 5. 26 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 7 名 監事 3 名	・ 2023 年度事業・決算報告 ・ 評議員・理事・監事候補の選定について ・ 2024 年度定期評議員会の開催について ・ 大原美術館入館券寄付プログラムについて
2	R6. 6. 27 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 8 名 監事 1 名	・ 代表理事の選出について ・ 事務分掌について ・ 2024 年度第 1 期 FUN LIFE 基金審査について
3	R6. 9. 1 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 8 名 監事 2 名	・ 2024 年度冠基金・社会変革基金助成について ・ 2025 年度事業執行方針について(継続審議) ・ 事務分掌について ・ にこにこえがお奨学金助成について ・ 大原美術館入館券寄付プログラムについて

4	R6. 12. 1 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 7 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2024 年度冠基金・社会変革基金助成について ・ ろうきん寄付システムの助成について ・ にこにこえがお奨学金助成について ・ 2025 年度事業計画について（継続審議）
5	R7. 3. 9 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 8 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2025 年度事業計画・予算について ・ 2025 年度執行体制について ・ 社会変革基金・冠基金の審査について ・ 福祉人財育成奨学金助成について ・ にこにこえがお奨学金助成について ・ ろうきん寄付システムの審査について ・ 2025 年度冠基金・社会変革基金の公募について ・ 2025 年度事業指定助成プログラムの公募について

○経営委員会

目 的 ： 定期的な経営状況の確認と対策の検討

構成員 ： 赤木代表理事、大山専務理事、石田理事、藤井理事、森田事務局長

内 容 ： 四半期毎の決算状況の確認

(変更等が必要な場合は、事業方針の見直しなどを理事会へ提案)

開催日時： 7 月 23 日、11 月 21 日、1 月 14 日、2 月 18 日



■ 事業報告

○事業指定助成プログラム

～ 事業実施者と寄付者をつなぐ ～

2024年度は、2023年度同様、団体の寄付募集のはじめの一步を応援する「はじめの一步型」（割り勘で夢をかなえよう！）と、すでにある程度の活動実績と継続性が認められる団体の特定のプロジェクト組成を応援する「事業発展型」（未来の当たり前をつくろう！）の2種類で公募を行いました。

「はじめの一步型」は前期と後期で公募し、前期に1団体の寄付募集を行いました。「はじめの一步型」としては初めての寄付募集となりました。

「事業発展型」については、他の民間クラウドファンディングサービスを紹介することで団体のニーズを満たすことが多く、みんなの事業指定助成としての、応募団体はありませんでした。

【次年度への課題】

他の民間クラウドファンディングサービスとの区別を明確にし、各団体にあった取り組みが提案できるよう、引き続き相談対応は通年受付を行います。また、団体支援の体制強化のため割り勘ワークブック指導者の養成も継続して実施します。

■ 実施の詳細については、下記の通り。

事業名 【団体名】	助成金額 ※()内は 助成目標額	寄付総額 ※()内は 助成目標額	達成率	のべ 寄付 者数
子どもたちの声を掘り起こし、地域の 人と人とのつながりを生み出す！ 岡山県総社市内の全小学生を対象と した「作品集制作&展覧会開催」 【そうじゃ食堂 くうねるあそぶ】	160,000 (160,000)	200,000 (200,000)	100%	31人

事業の様子



○「みんなの貯金箱をもとう！」

冠基金・社会変革基金事業

～ 寄付者の思いに寄り添った制度設計 ～

2024 年度は、冠基金 6 基金 7 テーマ、社会変革基金 1 基金 1 テーマについて募集し、うち 2 テーマにおいて 2 団体、1 名の合計 3 事業の助成を行いました。

2024 年度も、「みんなの活動応援」助成団体連絡会との連携や、県内の助成団体合同説明会への参加などを行いました。

団体・個人の新しい挑戦やはじめの一步を応援する仕組みとして、「FUN LIFE 基金」と「BRIDGE SETOUCHI 基金」については四半期毎の公募を行いました。これにより、助成金公募時期にとらわれず、それぞれの活動や思いに合わせたタイミングで、いつでも活用してもらいやすい体制を構築しました。

「BRIDGE SETOUCHI 基金」については、一般財団法人倉敷成人病センター様からコラボ企画実施による寄付申込があった他、2024 年度より岡山シーガルズ様でもコラボ商品の販売が開始されました。また、「にこにこえがお基金」については、成人年齢引き下げの影響やその対応について専門家へのヒアリング等を行い、寄付者の意向も踏まえながら制度設計の見直しを行いました。

一方、社会変革基金「地域助け合い基金」「みんなつく子ども基金」については大きな寄付の増加がなかったため、助成実施はできませんでした。また、2020 年度に設置した「みんなつく災害支援基金」は、2024 年度は対象となる災害対応がなかったため、引き続き災害に備えて寄付募集を行います。

その他、事務局をつとめる「ろうきん NPO 寄付システム」は 2 団体への分配を実施しました。

【次年度への課題】

社会変革基金の 4 テーマ（地域助け合い・みんなつく子ども・にこみ復興・みんなつく災害支援基金）については、寄付募集体制を強化し、日ごろから知ってもらいやすい仕組みづくりを進めていきます。

FUN LIFE 基金と BRIDGE SETOUCHI 基金は、それぞれ 1 事業からの応募がありましたが、いずれも基金設置者との意向に合致しないため不採択となっています。いずれの事業も、事業内容はとても有意義なものであり、事業の発展のための支援を行っていきます。

また、全体的に団体からの応募数が少なかったため、公募時期の見直しや四半期毎の公募の継続など、引き続きニーズに応じた基金運営を行うとともに、関係団体との連携や新規団体の発掘などを通して、必要としている人へ情報を届けられるよう、情報発信を一層強化していきます。

【助成実施した基金】

テーマ	設置者	基金名	助成団体名	助成金額
子ども 福祉	匿名希望	福祉人財育成基金	NPO 法人 こうのさと	53,000
			タマリ	430,000
子ども	NPO 法人 岡山未成年後 見支援センタ ーえがお	にこにこえがお 基金	新規助成 1 名	1,164,000

【その他の助成事業】

テーマ	内容	助成団体数	助成総額
NPO 分野	ろうきん NPO 寄付システム	2 団体	100,000



○災害支援基金「ももたろう基金」

2018 年度に新設した平成 30 年度西日本豪雨災害の支援基金「ももたろう基金」（寄付募集、助成事業募集はともに終了）については、新型コロナウイルスの影響等で延期となっていた事業も含めて、2024 年度で全助成事業が終了しました。それに伴い、「ももたろう基金」の最終報告として、活動の記録や経験、ノウハウを残すことを目的に活動報告書を作成し、シンポジウムを開催しました。報告書では、災害支援基金の運営や平時の備え、組織運営等の参考にもなるよう、「ももたろう基金」の活動実績だけでなく、「ももたろう基金助成の仕組み」や「災害支援基金チェックリスト」、「助成先団体インタビュー」といった構成で、当時のことを振り返りながら、災害支援活動におけるポイントやノウハウ、考え方などの情報を盛り込みました。また、報告書のお披露目も兼ねたシンポジウムでは、「ももたろう基金」の助成先 3 団体と石田理事（ももたろう基金 PO）、大山専務理事（発災当時の代表理事）によるパネルディスカッションを行い、それぞれの立場で当時を振り返ることで、参加者のみなさんと一緒に、より自分事として今後の取り組みについて考える機会となりました。

3 月には、今回作成した報告書をもとに「ももたろう基金 報告書を読む会」を開催しました。今後も、本報告書を積極的に活用しながら、セミナーやイベント等の機会提供を行うことで、災害支援活動の経験やノウハウを広く共有していきたいと思います。また、みんつく災害支援基金を活用するとともに、平時から他セクターや OB・OG ネットワークとの連携を行うことで、非常時に力を発揮できる体制構築に引き続きつとめていきます。

事業の様子



活動報告書



シンポジウムの様子



○「みんなとやればできるはず！」地域円卓会議

2024 年度は、地域円卓会議の開催はありませんでした。

2023 年度に実施した高校生・大学生による若者円卓会議の内容をもとに、学生ボランティア交流会の開催などを行った他、2023 年度に引き続き、助成団体との交流や意見交換を行う機会を設けるなど、知恵や知識を共有する機会を設けました。

今後は、Share 会議から発展して円卓会議を開催するなど、まちの話題についてみんなで考える仕組みづくりを行います。

○情 報 発 信

より多くの方に情報が届けられるよう、参加者や開催内容等に応じて、オンラインと現地開催を併用しながら情報発信を行いました。

特に、助成事業の情報発信については、合同説明会や他団体の事業内での情報発信など、自団体のみならず県内の助成団体での発信力を強化していきました。

また、依頼に応じて講師派遣を実施しました。

【県内助成団体 合同説明会】

月	研修会・会議名	内容
9 月	助成団体合同説明会	合同説明会の実施@津山市役所 (主催:岡山県・岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター(ゆうあいセンター))
9 月	助成団体合同説明会	合同説明会の実施@ゆうあいセンター (主催:岡山県・NPO 法人岡山 NPO センター)

○ノウハウ移転事業

2024 年度は、市民活動に関する包括協定をむすんでいる瀬戸内市の支援を行うとともに、他の公益法人への支援を中心に行いました。瀬戸内市の支援では2024 年度から、補助金の報告書類等の確認支援業務も行いました。また、DV 被害者の自立支援を行うサンフラワー基金の運営支援や、全国各地のコミュニティ財団の設立・運営や災害支援基金運営の助言を行いました。その他、総社市内の地域づくり協議会が実施する全世代みんなの会議のコーディネートで 2 地区つとめました。

(主なノウハウ移転事業一覧)

相手先	内容
瀬戸内市	「協働のまちづくり推進事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民団体・学生支援、モデル事業支援 ・ 補助金運営支援 ・ 職員研修 「報告書類等確認支援事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民団体・自治体の補助金活動報告書の確認支援
公益財団法人 サンフラワー基金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公益法人運営について ・ 助成事業の設計について
コミュニティ財団関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ財団設立イベント登壇 [NPO 法人 GWEI (とくしまコミュニティ財団設立プロジェクト事務局)] ・ 伴走支援業務 [(公財) たかまつ讃岐てらす財団、NPO 法人 bankup (とっとりコミュニティ財団設立準備会)] ・ プロジェクト指定基金 審査サポート [(公財) たかまつ讃岐てらす財団] ・ プロジェクト指定基金 研修会登壇 [(公財) たかまつ讃岐てらす財団]
認定 NPO 法人 ハーモニーネット未来	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中四国フードバンク活動ネットワーク構築支援
公益財団法人 福武教育文化振興財団	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハロー！ミュージアムプロジェクト 仕組み構築支援
公益財団法人 大原美術館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大原美術館 入館券寄付プログラム構築 (モデル事業実施)
総社市 地域づくり協議会 ・ 新本地区 ・ 清音地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全世代みんなの会議 コーディネート



○セミナー

2024 年度の＋１セミナーは、現地またはオンラインを併用して開催しました。
役員改選に伴い、組織体制強化のための内部研修も兼ねた勉強会なども行いました。

(＋１セミナー) 開催：計画年４回程度 実施 10 回

月	内容	開催場所
5 月	2024 年度第 1 期助成事業 説明会 & 割り勘ワークブック説明会	FLCB 1 階＋オンライン
6 月	災害支援講演会 & BOSAI マーケット出展	FLCB 1 階＋オンライン
7 月	みんつく芸術・文化関連事業 勉強会	FLCB 1 階＋オンライン
8 月	みんつく助成事業 勉強会	FLCB 1 階＋オンライン
10 月	資金調達に関する事業整理ワークショップ ((公財)福武教育文化振興財団「and F 教室」登壇)	FLCB 1 階
11 月	総社市危機管理室 防災出前講座	FLCB 1 階
12 月	2024 年度助成事業 説明会	FLCB 2 階＋オンライン
1 月	2024 年度助成事業 説明会	FLCB 1 階＋オンライン
2 月	資金調達セミナー (主催:岡山県/NPO 法人岡山 NPO センター)	ゆうあいセンター
3 月	ももたろう基金 報告書を読む会	オンライン



○Share 会議

2024 年度の Share 会議は、現地開催を基本に、参加者の希望に応じてオンラインとのハイブリッド形式で開催しました。

今後も、参加者や企画内容に応じて開催方法を工夫し、多くの人が利用しやすい機会提供を行っていきます。

(Share 会議) 開催：計画年 4 回程度 実施 6 回

月	内容	発表者	場所
4 月	「minnato(ミンナト)」プロジェクト	(一社)岡山こども食堂 支援センター 直島 氏	オンライン
7 月	奨学金ネットワーク勉強会	みんつく事務局	オンライン
8 月	第 18 期割り勘 公開プレゼン・審査会	そうじゃ食堂 くうねるあ そぶ 森川 氏	FLCB1 階+オンライン
9 月	総社市学生ボランティア交流会	— (共催:(一社)ON-DO)	誠和学舎
12 月	総社市学生ボランティア交流会	— (共催:(一社)ON-DO)	FLCB 1 階
1 月	廃園活用事業 検討会	NPO 法人 まんなか 岡田 氏	旧岡山市立旭竜幼稚園



○調査・研究会等

岡山県から受託した地域力向上支援事業をきっかけにうまれた「みんなの活動応援」助成団体連絡会では、2025 年 4 月からの公益法人制度の改正に向けた各団体の対応方針の共有や、今後の課題解決や価値創造を行うためどのように連携して取り組んでいくか等を話し合いました。

そのほか、コミュニティ財団の運営に関する情報共有・収集などを目的に、2022 年度からはじまった市民ファンド・コミュニティ財団関係者による勉強会（市民ファンド/コミュニティ財団の集い）等に参加しました。また、奨学金を必要な人が、簡単に情報にリーチでき、制度を活用しやすい仕組みづくり（岡山県内の奨学金ネットワークの構築事業）の一環として、「奨学金制度活用の手引き」の作成も行いました。

【「みんなの活動応援」助成団体連絡会】

構成員 正会員：（公社）岡山県文化連盟
（公財）橋本財団
（公財）福武教育文化振興財団
（公財）みんなでつくる財団おかやま
準会員：（社福）岡山県共同募金会
（公財）マルセンスポーツ・文化振興財団

月	研修会・会議名	内容
4 月	コアメンバー(正会員)会議	2024 年度の活動について意見交換
7 月	座談会	「応援したくなる活動ってどんな活動？」をテーマにした座談会の開催 @Junko Fukutake Hall + オンライン (福武教育文化振興財団主催、「ふえき」掲載用)
3 月	コアメンバー(正会員)会議	2025 年度の活動について意見交換

【コミュニティ財団の運営について】（主催：NPO 法人市民社会創造ファンド）

月	研修会・会議名	内容
5 月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い(勉強会)	助成事業の運営実務における悩み事や失敗談など @オンライン
8 月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い(勉強会)	みんなつく事例紹介・情報提供(株式寄付についてなど) @オンライン
10 月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い(勉強会)	各団体の近況共有、話題提供 @オンライン
12 月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い(勉強会)	助成事業における情報管理システムの活用について @オンライン
1 月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い(勉強会)	一般寄付の集め方について @オンライン



○そ の 他 （寄付文化創造）

毎月 29 日の「ツクル日」は、FLCB を活用して地域との交流のきっかけづくりを行いました。特にチャリティーイベントとその関連企画の開催によって、総社周辺の地域の方々に寄付を身近に感じていただく機会提供を行いました。

（ツクル日）開催：29 日頃、実施 12 回

月	内容	開催場所
4 月	「これいる？マーケット」 出店	FLCB 1 階
6 月	みんつく ビアガーデン	倉敷アイビースクエア
7 月	貯金箱・募金箱づくり	FLCB 1 階
8 月	認定 NPO 法人 ペアレント・サポートすてっぷ トーク企画 「ハンドメイド品販売を通じて伝えたい“保護者支援”」	ログイン倉敷
9 月	みんつく 12 周年記念イベント	FLCB 1 階
10 月	みんつくランチ交流会	FLCB 1 階
11 月	422 人マラソンリレー	総社北公園陸上競技場
11 月	親子防災を考える(BRIDGE SETOUCHI 基金報告会)	FLCB 1 階+オンライン
12 月	寄付月間祭り 2024	FLCB 1 階
12 月	みんつく望年会	ログイン倉敷
1 月	ももたろう基金 活動報告シンポジウム	FLCB 1 階+オンライン
3 月	みんつくフォーラム 2025	みはらし会議室

【422人マラソンリレー】 \ スポーツ×チャリティー /

1人100m幅広い世代、延べ422人でバトンをつなぎ42.195kmマラソンの世界記録を目指すチャリティーイベントです。2022年の開催から3回目の実施となりました。

リレー中には、NPO団体の活動紹介展示や寄付について考える企画等を実施し、地域団体の周知や寄付の呼びかけと発信を行いました。

- ・日時： 2024年11月4日(月祝) 13:00～
- ・場所： 総社市北公園陸上競技場 (〒719-1115 岡山県総社市福井1200)



【寄付月間祭り】 \ お祭り×チャリティー /

“まちの文化祭”として、縁日やNPO紹介・出店、チャリティーバザー、県大生の作品展示・販売などのチャリティーイベントを開催しました。2021年の開催から4回目の実施となりました。

イベント会場で使うお金は全て、地域のNPO団体等への寄付につながる仕組みとし、参加者自身に寄付先を選んでもらう仕組みとしました。

『欲しい未来へ、寄付を贈ろう。』を合言葉に、毎年12月に開催される全国的な寄付啓発キャンペーン「寄付月間」に合わせて開催しました。

- ・日時： 2024年12月15日(日) 10:00～15:00
- ・場所： FLCB (総社市中央2丁目2-8)





4 月 これいる？マーケット ブース出展



6 月 みんつくビアガーデン



8 月 すてっぷトーク企画



9 月 12 周年記念イベント

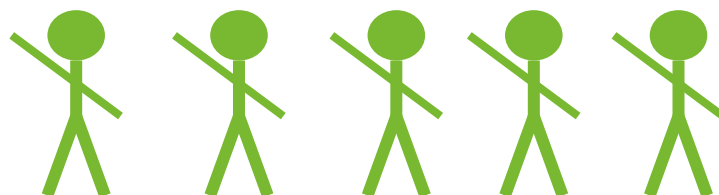


11 月 親子防災を考える



3 月 みんつくフォーラム 2025

**2024 年度も
ありがとうございました！**



以上のとおりであるが、2024 年度事業報告は本文にて事業等が詳細に説明され、したがって「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は不要につき、附属明細書は作成しない。